

JJF2012 開催要項

JJF2012 概要

【日程】

2012年10月6日(土)～2012年10月8日(月・祝)

【場所】

東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター

スポーツ棟／大体育室(第1、第2体育室)

スポーツ棟／中体育室(第3体育室)

スポーツ棟／小体育室(第4、5体育室)

カルチャー棟／大ホール

【アクセス】

・小田急線

参宮橋駅 下車 徒歩約7分

・地下鉄千代田線

代々木公園駅(C02)下車(代々木公園方面 4番出口) 徒歩約10分

・京王バス

新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車

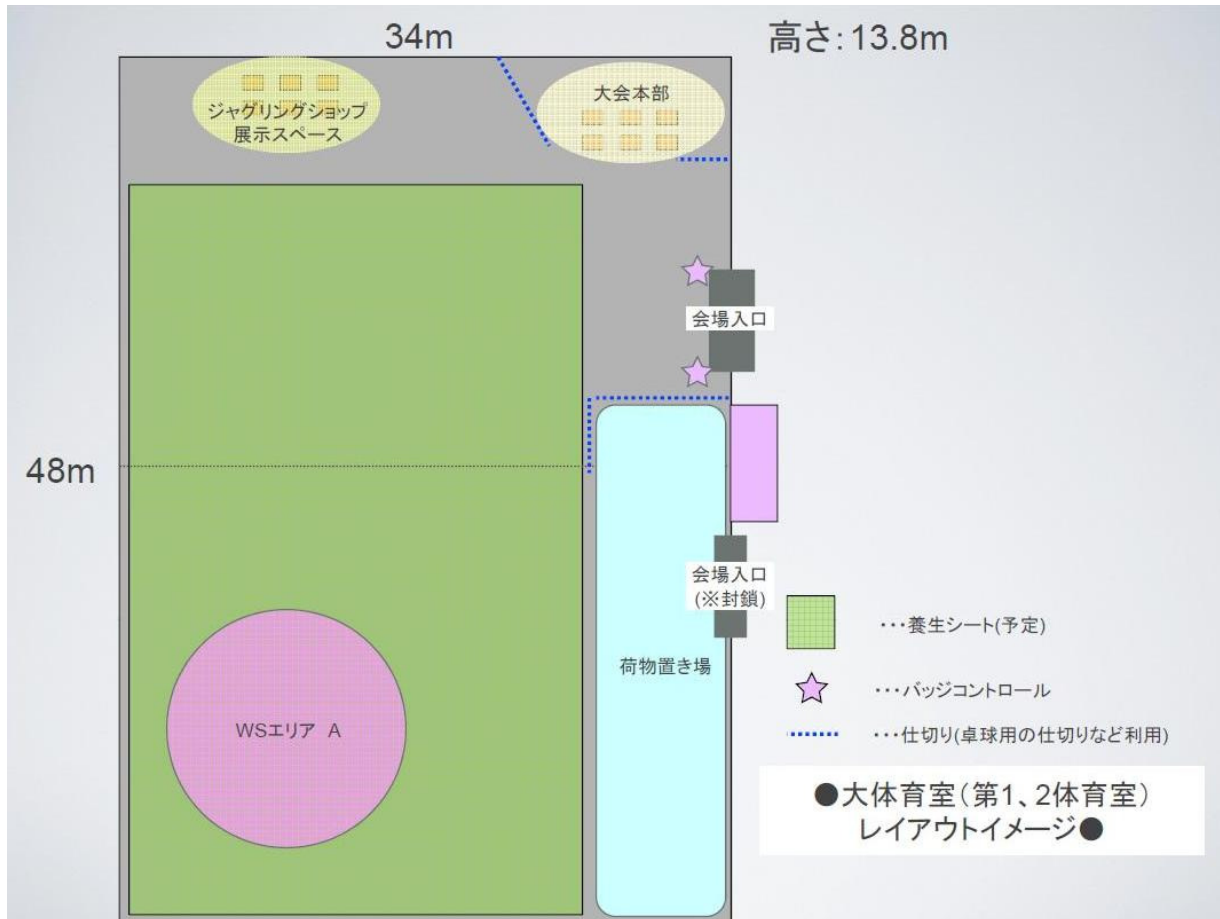
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

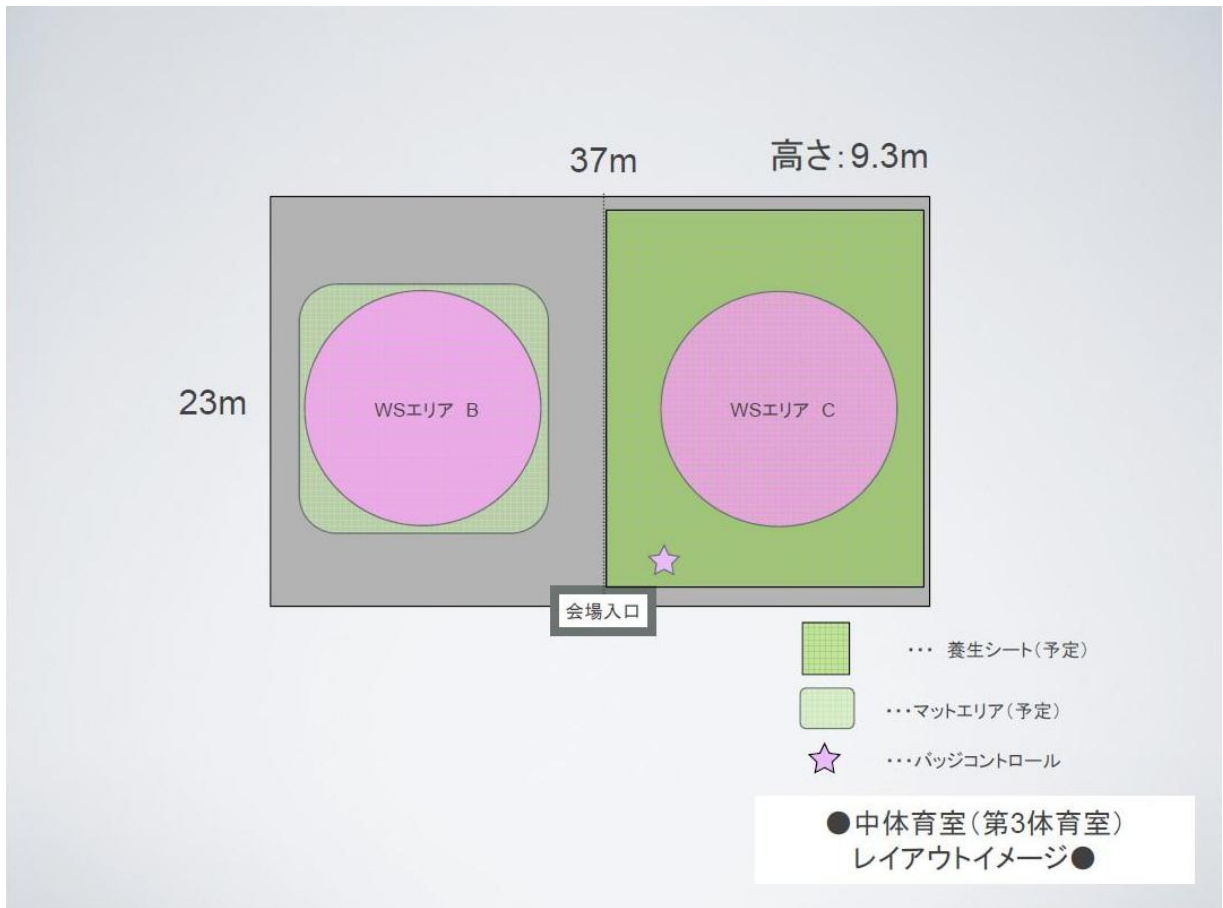
ー国立オリンピック記念青少年総合センター 交通案内(交通アクセス)

<http://nyc.niye.go.jp/facilities/d7.html>



スポーツ棟内のレイアウト





エリア毎の利用可能道具一覧			
<道具の種類>	<マットエリア>	<養生シートエリア>	<床エリア>
ボール(トス用)	×	○	○
クリスタルボール	○	×	×
バウンスボール	×	×	○
クラブ、リング、 ディアボロ、ヨーヨー デビルスティック フラワースティック スタッフ	×	○	×
シガーボックス、 シェーカーカップ	○	×	×
スカーフ、ハット トリックロープ ポイ・その他スイング系 フットバッグ 剣玉 ※1 皿 ※1	×	○	○

【各エリアの利用方針について】

・マットエリア(第3 体育室、第4 体育室)

床を傷をつける可能性が高い、シガーボックス、シェーカーカップ、クリスタルボールの利用エリアになります。十分な広さはありませんので、これらの道具以外でのご利用はマットに空きがある時のみお願いします。

・養生シートエリア(第1,2 体育室、第3 体育室)

最も多くの道具に利用していただくエリアになります。マットエリアにすることはなくとも、落とした際に床を傷つける可能性がある道具はこちらでご利用をお願いします。

・床エリア(第5 体育室)

床を傷つけることのない道具のみご利用いただけます。バウンスボール以外にもボール、スカーフ、ハットなどもこちらでご利用いただけます。

※1 剣玉で離れ業などを行う場合や、皿回しでアルミニウム製の皿を使うようなケースは床では行わないでください。

※ 傘回しなどは上で回す道具によって、利用可能なエリアが変わってきます。当日スタッフまで

ご相談ください。また、上記に記載されていないその他の道具につきましても、使用している場所が不明な場合は当日スタッフまでご相談ください。

参加規約

- ジャグリングはある程度危険を伴うスポーツであることを認識し、自分自身及び他参加者が負傷することがないように注意をお願いします。
- JJF の期間中に、参加者に怪我、事故又は盗難などによって損害が生じたとしても、日本ジャグリング協会は一切責任を負いません。
- 参加者の故意・過失により、会場、他の参加者その他の第三者に損害が生じた場合には、参加者はその損害の全部を賠償する責任を負います。
- JJF の会場内で、物品販売その他一切の営利的行為をすることはできません。
- JJF 期間中に、日本ジャグリング協会によって撮影・取材等により作成された著作物の著作権は、全て日本ジャグリング協会に帰属します。日本ジャグリング協会はそれらを編集し、ビデオ、出版物、ホームページ、映像配信等に利用するものとします。参加者は日本ジャグリング協会の作成する著作物に対して、著作者人格権、肖像権、その他一切の権利を行使しないものとします。顔や演技の一部の映像および写真等が編集されて、日本ジャグリング協会作成のビデオ・出版物等に無償で使用されることに同意していただきます。
- 会場内での写真、ビデオの個人撮影については、参加申し込み時に同意いただく誓約書の撮影規則に従ってください。
- 参加申し込み時に参加規約および撮影規則等に関する誓約書に同意していただきます。
- 未成年者が自分で誓約書にサインする場合は、保護者に誓約書の内容を周知し同意をいただってください。また小学就学前の乳幼児を同伴される参加者は、その乳幼児の保護者に誓約書の内容を周知し同意をいただってください。誓約書の提出によって、保護者の同意があったものとみなします
- 乳幼児を同伴される参加者は、JJF2012 期間中お子様に怪我がないように常時見守りをお願いします。お子様を劇場ロビーに放置されるなど責任放棄の行為が行われた場合は、安全確保のため、参加者とお子様双方に JJF 会場から退去していただく等必要な処置をとらせていただく場合があります。
- 参加者は、JJF 会場内では常に参加証を携帯し、体育室入場時には必ず参加証を提示しなくてはなりません。提示されない参加者に対して JJF 会場から退去していただく等必要な処置をとらせていただく場合があります。
- 安全確保および円滑なイベント進行のため、参加者は JJF スタッフの指示に従っていただきます。JJF スタッフの指示に従わない参加者には JJF 会場から退去していただくなど必要な処置をとらせていただく場合があります。
- JJF スタッフの指示に従わない等トラブルを起こした参加者に対しては、次年度以降の JJF 参加およびチャンピオンシップ申し込みをお断りすることがあります。
- 参加者に JJF 会場から退去を命じる権限は JJF 実行委員会にあります。JJF 正副実行委員長、JJF 担当理事、および日本ジャグリング協会理事長は JJF 実行委員会を代表して退去を命じることができます。またその退去の決定に対して参加者は異議を申し立てることができません。退場を命じた場合でも JJF 参加費はお返しいたしません。

スケジュール

最新のスケジュールを JJF2012 のホームページに掲載していますので、そちらをご確認ください。

<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2012/jp/schedule.html>

会場内にも掲示する予定です。

参加証の受け渡しについて

【参加証、チケットの受け取りについて】

JJF2012 では、JJF 開催期間中に会場受付にて受け渡しを行います。場所、時間、チケット受け渡しに必要なものは以下のとおりです。

【受け渡しに必要な物】

- ・確認書(印刷したもの)
- ・JJF に参加される 18 歳以下の方は年齢が確認できるもの(学生の方は学生証)

※確認書は参加申し込み受付ページ(<https://amarys-jtb.jp/juggling2012/?&g=0>)にログインし、マイページにある「確認書表示」というリンクをたどり、そちらを表示して印刷してください。

※印刷された確認書をお忘れの場合、チケット受け渡しは出来ませんのでお気をつけください。

【対象チケット】

- ・JJF2012 の参加証
- ・ゲストステージチケット
- ・宿泊チケット
- ・T シャツチケット

【受け渡し場所】

JJF2012 受付
(国立オリンピックセンター記念青少年総合センター／スポーツ棟・大体育室前に設置)

【受け渡し日時】

- ・10/6(土) 9:30～15:30
- ・10/7(日) 9:00～17:30
- ・10/8(月) 8:30～17:00

※変更になる場合もあります。最新のスケジュールは

<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2012/jp/schedule.html>

をご確認ください。

【その他の注意事項】

・JJFに参加されず、ゲストステージチケット観覧のみの方も、JJF2012 受付にてチケット受け渡しを行います。直接、カルチャー棟・大ホールにお越しいただいてもチケット受け渡しはできませんので、ご了承ください。

・複数枚のゲストステージチケットを購入されている場合は、申込者(確認書のお名前)の方が受付にて人数分のチケットをお受け取りください。

・ゲストステージチケットのみの方は18歳以下でも年齢が確認できるものは必要ありません。

・チャンピオンシップ観覧には参加証の提示が必要です。参加証が無い場合は観覧できません。

・受け渡し後に参加証やチケットを紛失された場合、再発行はできません。お気をつけください。

注意事項とお願い

【参加証の携行】

JJF2012 の参加証は、体育館に入出する際や CS を観覧する際に必要です。必ず見える位置に身に付けてください。

体育館入出の際にはバッチコントロール担当のスタッフが、チャンピオンシップの際は入場係受付のスタッフが参加証を確認いたします。

【会場準備】

JJF2012 は、参加者全員で作り上げるフェスティバルです。初日 10/6(土) 朝に会場内の準備、設営を行ないます。都合の付く方はスポーツ棟大体育室に 8:30 にお集まりください。また、10/8(月・祝) の閉会式の後、会場の後片付けを全員で行ないますので、時間の許す限り御協力をお願いします。

【道具の紛失を避けるために】

当日は、非常にたくさんのジャグリング用具が会場に集まります。紛失などを避けるため、自分のジャグリング道具や荷物には記名の上、必要であれば目印も付けてください。また、持ち込んだ道具類をリストにまとめておくと忘れる心配がありません。

【体育館保護】

床面の保護については特に気をつけてください。当日は体育室の一部にシートおよびマットを敷きます。床面を傷つける恐れのある道具(クラブ、デビルスティックなど)は必ずシートの上で、また角張った道具(シェイカーカップ、シガーボックスなど)はマットの上で使うようにしてください。極度に重い道具、一輪車、ナイフ、火を使う道具などは禁止です(一輪車は発表には使えますが、練習はできません)。また、クラブやデビルスティックの末端のネジが露出した部分をビニルテープで覆うなど、床面保護にご協力をお願いします。壁などに物をぶつけるジャグリングもご遠慮ください。

【体育館シューズの使用】

体育室内は土足禁止です。体育館用のシューズをご持参ください。

【体育室外でのジャグリング禁止】

スポーツ棟(第 1~5 体育室)外のオリンピックセンター敷地内ではジャグリングを禁止とします。施設との約束事項ですので、必ず守って下さい。

【会場内での飲食】

スポーツ棟(第1～5体育室)、カルチャー棟(大ホール)、センター棟について 自動販売機のあるフロアなど一部の場所で水分を取ることは可能ですが、基本的に会場内ほぼ全てのフロアで飲食禁止です。ただし、体育室内では水分補給の目的で水分を取ることが許可されています。各自の責任で床を汚さぬよう管理してください。

【宿泊棟について】

宿泊室内では飲食が禁止されています。談話コーナーという飲食可能なスペースが各フロアに用意されていますのでそちらをご利用ください。

【ごみの持ち帰り】

会場内にはごみ箱は基本的にはありません。ごみは各自で持ち帰るようにご協力をお願いします。

【喫煙】

喫煙は、許可された所定の場所でのみ行ってください。法律により未成年者の喫煙は禁止されています。

【震災時の対応】

JJF 開催期間中に震災が発生した場合は、オリンピックセンターの指示に従うことになります。その場の安全を確認し、館内放送の指示を待って下さい。参加者の点呼を実施する可能性もあります。

【体調管理】

ジャグリングを行う前には、ウォーミングアップ、柔軟体操を充分に行ってください。着替えやタオル、水分補給の用意をお願いします。また、夜は睡眠時間を充分にお取りください。万が一の診療期間受診に備え、健康保険証を持参されることをおすすめします。会場内で体調不良となった、または、体調不良の方を見かけた場合は、大会本部までご連絡ください。または、近隣の実行委員に声をかけてください。(緊急連絡用の電話番号は後日ホームページに掲載します)

【時間厳守】

円滑な進行のため、ワークショップやイベントの集合時間を守ってください。

【誓約書】

参加申し込み時に同意していただく誓約書の内容をご理解のうえ、JJF にご参加ください。

【年齢証明】

18歳以下の料金で参加される方は、年齢を証明できるものを御持参ください。

【その他】

不明点がありましたら、info-jjf2012@juggling.jpまでメールでご連絡ください。

JJF 期間の緊急連絡先:080-4291-8592(実行委員直通)

JJF2012 チャンピオンシップ決勝

【日時】

2012年10月6日(土) 開場 15:30 開演 16:00

【場所】

カルチャー棟 大ホール

【コンセプト】

日本一のジャグリングパフォーマンスを選定することを通して、世界に通用するパフォーマンスの育成に寄与し、日本におけるジャグリングの発展を総合的に促進する。

【主旨・概要】

- ・定められた時間の中でジャグリングを主体とした演技を行い、その技術力・希少性・パフォーマンス性などを審査する。
- ・純粋なジャグリングの競技会としては日本屈指のものであり、JJFのメインイベントのひとつである。
- ・予選と決勝を行い、決勝では金・銀・銅賞及び審査員特別賞の入賞者を選び、表彰を行う。

【観覧いただける方】

- ・JJF参加者全員(全日/1日のみ問わず)

◆JJF参加者は入場時、参加証の確認を行いますので、忘れずに参加証を持参してください。

【参加証受け渡し場所】

JJF2012 受付
(国立オリンピックセンター記念青少年総合センター/スポーツ棟・大体育室前に設置)

【参加証受け渡し日時】

- ・10/6(土) 9:30～15:30

※変更になる場合もあります。最新のスケジュールは

<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2012/jp/schedule.html>

でご確認ください。

【JJF2012 チャンピオンシップ開場前の並び方について】

- ・JJF2012では、チャンピオンシップの会場前の並びの先頭を「スポーツ棟中体育室」からとします。

※カルチャー棟大ホール前の受付からお並びいただくことはできませんのでご注意ください。

■並び開始場所

スポーツ棟中体育室

■並び開始時刻

10月6日(土)13:30

■詳細

10月6日(土)13:30に中体育室にてフリーパフォーマンスが開催されます。

フリーパフォーマンス担当の米屋が行列の先頭になり、チャンピオンシップの観覧者の列を取りまとめさせていただきます。

この際、フリーパフォーマンスを観覧いただきながら、チャンピオンシップの列にお並びいただくことができます。

フリーパフォーマンス終了後、チャンピオンシップ会場であるカルチャー棟大ホール開場(15:30)に合わせて、「スポーツ棟中体育室」から移動します。

■お並びいただく前の注意事項

- ・中体育室内の行列に並ぶ際には、必ず外履きを持ってお並び下さい。
- ・チャンピオンシップの公演中は各体育室を施錠いたします。大きなお荷物は体育室に預けてお並び下さい。ただし、貴重品につきましては各自で管理お願いいたします。

ゲストステージ

【開催日、場所、時間】

開催日:10月7日(日)

場所:国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール

時間:17:30 開場、18:00 開演

【チケット料金】

前売り 2500 円

※当日券はございません。前売りチケットのみの販売となりますので、ご注意ください。
※お客様のご都合によるキャンセルには払い戻しできません。予めご了承ください。

【チケットの受け取り方法】

JJF2012 では、開催期間中に会場受付にて受け渡しを行います。JJFに参加されず、ゲストステージチケット観覧のみの方も、JJF2012 受付にてチケット受け渡しを行います。直接大ホールにお越しいただいてもチケット受け渡しはできませんので、ご了承ください。

受け渡しの際は**確認書(印刷したもの)**をご持参ください。

※確認書は参加申し込み受付ページ(<https://amarys-jtb.jp/juggling2012/?&g=0>)に ログインし、マイページにある「確認書表示」というリンクをたどり、そちらを表示して印刷してください。

※印刷された確認書をお忘れの場合、チケット受け渡しは出来ませんのでお気をつけください。

【チケット受け渡し場所】

JJF2012 受付

(国立オリンピックセンター記念青少年総合センター／スポーツ棟・大体育室前に設置)

【チケット受け渡し日時】

・10/6(土) 9:30～15:30

・10/7(日) 9:00～17:30

※変更になる場合もあります。最新のスケジュールは

<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2012/jp/schedule.html>

でご確認ください。

フリーパフォーマンス

【概要】

ジャグリングを見せるもよし！見せなくてもよし！
面白いネタであれば大歓迎です。

【開催日時】

10月6日(土) 13:30～15:00
10月7日(日) 10:00～11:30

【場所】

第三体育室
(練習場の一区画と床保護用のマットの一部をお借りすることになります。ご協力をお願いします。)

【演技時間】

5分以内、準備・退出も含まれます。

【演技内容】

ジャグリングでなくてもかまいません。なんでもOKですがパフォーマンスについては常識の範囲内で行ってください。

【ルール・注意事項】

- 個人でも、チームでも参加可能です。
- チャンピオンシップに参加する方も、フリーパフォーマンスに参加することができます。
- 予選、順位は設けません。
- 照明などのステージ的効果は使えません。
- 床を傷つける恐れのあるもの(ファイアトーチ、ジャグリングナイフ)の使用は禁止します。
- 多くの観客を前にして見せるにふさわしくないこと、公序良俗に反することは禁止します。
- 観客を使ったパフォーマンスもしてかまいませんが怪我等には気をつけてください。もし怪我をさせたしまった場合、JJF2012 実行委員会では責任を一切負いません。

【使用音源】

- チャンピオンシップで規定されている音楽
(<http://www.juggling.jp/championship/2012/guide.html> の【使用できる音楽について】に書いてある曲、但し国内著作権団体の管理する曲を使う場合は、JASRAC 管理曲に限

る)をお願いします。(今回のJJFは一般には公開しないイベントですので、このような対応をさせていただきます。悪しからずご了承ください。)

- それ以外の楽曲に関しては、米屋 (free2012@juggling.jp)までお問い合わせください。
- 使用曲は当日にお持ち込みください。
- 必要事項が記載されていない場合原則として受け付けないので早めにお申し込みください。

【参加に関して】

- 必要事項を記載の上、Eメールで (free2012@juggling.jp)お申し込みください。
- 申し込みはすべての記載事項について確認が取れた方から先着順に行います。
- 尚、参加等に関する最終判断は米屋が行います。

【必要事項】

- 演技者氏名(全員分、かつ呼んで欲しい名前があれば併記してください。)
- 使用するジャグリング道具(使う道具の数)
- 演技の内容(あれば Youtube 等の動画 URL)
- 使用音源(JASRAC 管理曲の場合は JASRAC 作品コードもお願いします。)
- 演技時間
- 演技したい日時(希望通りにならない場合もあります。ご了承ください。)
- スタッフによる公式撮影以外のビデオ撮影の許可するかどうか。
- ※撮影を許可した場合、撮影したビデオの無断公開を許可するかどうかもあわせてお知らせください。

エクストリームジャグリング

【概要】

ジャグラーのジャグラーによるジャグラーのための一発芸大会。
とんがった技、練習中のトリック、必殺技、面白ネタなど、ジャグリング道具を使ったネタであれば何でもOK。

【開催日時】

10月8日(月) 14:00～15:30

【場所】

第三体育室
(練習場の一区画と床保護用のマットの一部をお借りすることになります。ご協力をお願いします。)

【演技時間】

一人当たりの持ち時間は20秒程度です。その間で2ドロップしたらその時点で終わりにします。
同じ人が同じ道具同じ個数で繰り返してトライするのは認めません。
開催時間が許す限り行います。

【使用音源】

- 米屋が用意します。

【参加に関して】

- すべて飛び入りです。出演順などはその場で決めます。

ワークショップ

【概要】

- ・ワークショップとは、ジャグリング等の講習会のことです。
- ・ワークショップは、JJFの参加者ならば誰でも受講することができ、無料となっております。何回受講しても別料金がかかるという事はありませんので、ぜひたくさんの方のワークショップを受講していただいて、技術向上にお役立てください。
- ・また、特定の道具・カテゴリーで、技の見せ合い等を行う「ブレイクアウト」も一部で用意されておりますので、奮ってご参加ください。
- ・海外ゲストによるゲストワークショップもございます。
- ・今年**は初心者向け講座も多く用意されておりますので、初心者の方もお気軽にどうぞ！**

【ワークショップ参加にあたって】

- ・JJF参加者であれば、ワークショップやブレイクアウトに参加する場合に、事前の申し込み等は一切不要です。各ワークショップ・ブレイクアウトが始まる時間に、所定の開催場所にお集まりください。
- ・各ワークショップは原則として一つ一つ独立しておりますので、興味を持ったワークショップのみを受講することができます。
- ・内容としては、説明と練習を交ぜたものがほとんどになると思われます。参加時には、JJF後にも忘れないために、ノートなどを持参しメモをとるのもいいかもしれません。

【道具】

- ・ワークショップで使用する道具は、できるだけ各自で用意してください。紛失を避けるため、道具には自分の道具だとわかる目印を必ずつけておいてください。
- ・また、入門・初級クラスのワークショップの開催時は、会場の参加者から道具をお借りすることがございます。道具をお持ちの方は、できるだけ道具の貸出にご協力をお願いします。

【スケジュール】

- ・ワークショップの内容や時間・場所は現在の情報をもとに記載しております。
- ・都合により変更となる場合もありますので、当日会場にてスケジュール表をご確認願います。
- ・もしかすると飛び入りワークショップもあるかも？

【ワークショップ一覧、開催場所】

ワークショップ一覧、開催場所、スケジュールの最新版は JJF2012 のホームページをご確認ください。

<http://www.juggling.jp/jjf/jjf2012/jp/workshop.html>

当日会場にも掲示する予定です。

エンデュランス公式記録会

【日時】

2012年10月7日(日)12:00～13:30 (競技が長く続いた場合、延長する場合もある)

【場所】

国立オリンピック記念青少年総合センター

スポーツ棟・中体育室 ※詳しい場所は当日アナウンスを行う。

【種目】

以下の14種目を実施する。※女子部門については女性のみ参加可能です。他の種目は男女問わず参加できます。

- ・5 ボール カスケード
- ・5 ボール カスケード(女子部門)
- ・5 ボール シャワー
- ・6 ボール ファウンテン
- ・7 ボール カスケード
- ・5 リング カスケード
- ・5 クラブ カスケード
- ・7 ボール バウンス
- ・2 ディアボロ ハイトス(女子部門)
- ・3 ディアボロ ハイトス
- ・2 デビルスティック プロペラ
- ・2 デビルスティック アイドリング
- ・3 シガーボックス レインボーループ
- ・4 シガーボックス ダイヤモンドループ

※各種目5名以上の参加希望者がいない場合は実施しない。

※これ以外の種目に関しても、参加希望者が10名以上集まる場合は実施を検討する。

※本競技会の記録は協会公認の公式記録になる。

※5秒前からカウントを始めるので自分のタイミングで開始すること。ただしカウントが0になった時点から計測を始める。

※終了後、上位3名までの結果をJJF公式WEBサイト等で発表する。

日本ジャグリング協会企画講演会 ～ジャグリングと文化 その1

【講師タイトル】

「ジャグリングはどこへ向かうのか？現代サーカスシーンにみる、ジャグラーたちの模索と変貌。」

【講演会の趣旨】

ジャグリング協会ではスポーツやアートとしてのジャグリングのみならず、ジャグリングの発展のために文化としてのジャグリングの啓蒙や普及を今後行っていきたいと考えています。あわせて現代社会の中におけるジャグリングの立ち位置を他との関わり合いを通じて明らかにし、我々ジャグラーが進むべき方向性を見出していきたいと思っています。そこで、ジャグリング協会としてジャグリングに関する講演会活動を開始することにしました。年に数回の開催を予定しています。その第一弾の試みとして、サーカス研究に造詣が深い田中様をお招きし、サーカスという場から見たジャグリングについて語っていただきます。今回は特にジャグラーの皆様から聞いていただきたい内容でしたのでJJFの中での講演としました。次回以降はより一般の方々が聴講できるような場にすることを検討しています。皆様の参加をお待ちしています。

【講演概要】

古代エジプトの壁画にもみられるように、ジャグリングが古来より行われてきたのは明らかだ。ジャグラーの原型は、宗教儀礼に現れることもあれば、中世くらいまでは宮廷や市場で語りや音楽、アクロバットなど様々なことを行う芸人だったといわれる。ジャグリングがそれ自体独立した「ショー」として開花したのは、19世紀以降の近代サーカス、そしてその後のミュージックホール。以来現在に至るまで、ジャグリングは百花繚乱の進化をみせたともいえるし、人々を惹きつけてやまない部分はずっと変わらない、ともいえる。1980年代からのヌーヴォー・シルク、サーカス学校の流れから現れてきた、ジェローム・トマをはじめとする新時代のジャグラーたちは、ひたすら「作品」として、「舞台」としてのジャグリングを探求し続けている。日本では、今も技術を争う競技的ジャグリングが人気の一方で、最近では「表現」としてのジャグリングが支持され始めているようだ。技術か、表現か？はたまたリアルか、バーチャルか？個人技か、集団技か？変貌か？一時の流行か？ヨーロッパをとりまく現代サーカスシーンとその周辺で起こっているジャグラーの動きをレポート。

【講師プロフィール】

田中未知子

(サーカス堂ふなんびゆる代表 / フランス国立大道芸サーカス情報センター日本特派員)

2004年、北海道新聞社事業局時代に運命的にフランス現代サーカスに出逢い、4年連続、フランスやベルギーから注目作品を招聘し、合計約2万人を動員するプロジェクトに中心的に携わる。以来、サーカスと生きることを決意。

同社退職後フランスに渡り、2年半の取材と執筆のあと「サーカスに逢いたい～アートになったフ

ランスサーカス」出版。

越後妻有大地の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭でパフォーマンスアート担当として働いたあと、高松にて創作サーカス発信基地「サーカス堂ふなんびゆる」を立ち上げ。

2014年に日本発の創作サーカスフェスティバルを始めるべく、地元をまきこんだ活動を展開中。その1ページ目として、今年11月3日、香川の私鉄・高松琴平電気鉄道の仏生山工場の中で創作サーカス公演を実施する。

【日時】

日時：10月8日(月) 14:00～15:30

【場所】

スポーツ棟第1研修室(40人室)

【備考】

各自、筆記用具・ノートなどご持参の上、ご聴講ください。